

# 多彩な国際交流や海外研修で視野を広げ 国際貢献できる医療福祉の専門職へ。

学生たちが将来、どの国でもどんな場所でも自立した医療福祉のエキスパートとして行動できる人になってほしい。  
そんな願いから、本学では学内組織として国際部や国際交流センターを設置し、  
国際プロジェクトの企画・運営や海外情報の収集、海外からの短期研修の受け入れなど、  
さまざまな国際交流や海外研修を展開しています。

## 2週間の海外研修プログラム

※コロナ禍にあっても、オンライン海外研修などを続けています

本学では、10日～2週間の海外研修(総合教育科目「海外保健福祉事情」)を実施しています。本学が学術交流協定を結んでいる24の国や地域から研修先を選び、現地の医療福祉や異文化を体験します。海外の医療福祉現場に触れることで国際的な視点を養う貴重な機会となっています。

### 研修の一例(2019年度夏季研修・カンボジア)

- |     |  |      |   |
|-----|--|------|---|
| 1日目 | カンボジア・プノンペン到着  | 7日目  | アンコールワット見学、シェムリアップ州立病院、ヘルスセンター見学              |
| 2日目 | プノンペン市内見学  | 8日目  | アンコール小児病院見学、プノンペンへ移動                          |
| 3日目 | 講義「カンボジアの医療事情」、カンボジア国立保健科学大学施設見学、歓迎夕食会「Tomodachi Hour」 | 9日目  | 歴史的施設Tuol Sleng Genocide Museumとセントラル・マーケット見学 |
| 4日目 | クメール・ロビエト友好病院、老人センターほか複数施設訪問                           | 10日目 | フェアウェルセレモニー、研修報告会                             |
| 5日目 | 国立母子健康センター、カルメット病院ほか複数施設訪問                             | 11日目 | 帰国  |
| 6日目 | シェムリアップへ移動、シェムリアップ州保健医療課長表敬訪問、アンコール・バナナ博物館見学           |      |   |

## オンライン海外研修参加者

2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外研修は中止となりましたが、協定先である中国、シンガポール、タイ、モンゴル、カンボジア、ハンガリーの大学や研究センターとリアルタイムでのオンライン研修を実施しました。また、韓国や台湾などの大学からは録画による講義を提供していただきました。

堂々と話す姿に刺激を受けた。

シンガポールとモンゴルの大学との交流にそれぞれ参加しました。内容は医療制度についてのプレゼンテーションやディスカッション、お互いの国の文化の紹介などです。画面越しの学生が、相手が先生であろうと質問していたことが印象的で、刺激を受けました。将来はNGOなどで国際的な活動をしたいと考えているので、英語をもっと勉強して、私も自信を持って話せるようになると強く思いました。

将来の夢への思いがより強く。

講義後のグループワークでは、日本とシンガポールの文化や伝統の違いから医療制度がどのように異なるかを意識しながら交流しました。私の夢は、子どもや高齢者に負担が大きい注射薬以外の内分泌の新薬を開発すること。この研修を通して、注射薬を負担に感じる患者さんが海外にも多くいることを実感し、夢を実現したいという気持ちが一層強くなりました。

成田保健医療学部  
医学検査学科(2年)  
田中 紫彩 さん  
(和歌山県 初芝橋本高等学校出身)



福岡薬学部  
薬学科(2年)  
釜我 礼一 さん  
(長崎県 海星高等学校出身)



## ミャンマーからの留学生

質の高い教育と手厚いサポートが魅力。

国際的に活躍できる医師をめざす私にとって、国際的で質の高い教育だけではなく、実践教育も充実していることが、本学の魅力でした。そして、さまざまな国からの留学生との交流も、期待していたことのひとつです。英語と日本語の両方で講義が行われるほか、active learning も取り入れられていてわかりやすく、効率良く学修ができています。唯一、日本の生活に慣れることができるかどうか不安でしたが、国際交流センターでは、生活面においてもサポートしていただき、心配なく勉強に集中できています。

医学部  
医学科(1年)  
ナウ ワトン ウー さん



# 24カ国・地域にある47の大学・機関と 学術交流協定を締結

※2022年4月現在

